

2023年 2月 19日

報道用資料

ダイカン株式会社

業界初！内容物の一元管理が可能なスマートドラムを開発

ダイカン(株)は、紙製ドラム缶(ファイバードラム)に IC タグを内蔵し、内容物の在庫や残量管理、トレーサビリティの実現、保管品質(温湿度)の管理、開封・未開封の安全管理等の情報を無線で読み書き出来、その情報をスマートフォン等の携帯端末で閲覧出来る『スマートドラム』を開発、紙製ドラム缶業界で初めて提案を開始します(商標/特許出願中)。

ドラム缶の識別管理はラベルシールを貼りつけてバーコード読み取りや目視で行うため人手がかかり、容器に近づいて読み取る必要があります。また、バーコードが汚れているときは読み取りが出来ない不具合や、目視情報の誤認による人的ミスの誘発リスクも介在しています。一方、『スマートドラム』は離れた場所でも自動で、無人でも情報を収集でき、読み取りミスや人的ミスを低減できることが特長で、容器製造時に IC タグを内蔵することでドラム購入後にタグを取り付ける手間を解消しています。また内蔵することでタグの破損や脱落、情報改ざんが防止され、容器廃棄時にはタグを簡単に分離できる構造とすることで環境にも配慮されています。

今回『スマートドラム』を開発したダイカン(株)は、創業100余年の日本で唯一のドラム缶総合メーカーです。開発担当者曰く、『スマートドラム』を使用することで、内容物の充填および出荷判定を含めたラインの自動化、流通情報の共有化等も可能で、お客様の DX(Digital Transformation)化推進や人手不足解消につながります。特に化学品、医薬品メーカーにとっては内容物の一元管理が可能になることで輸送途中の品質事故を防ぎ、安全・安心に内容物を国内外の仕向け先までお届けすることができます。また現行の紙製ドラムは海外輸出用の容器として使用されることが多く、ワンウェイ使用が多いですが、履歴管理が出来ればリユースのハードルも下がる。将来的には世界中のファイバードラムをリユースし、SDGs に貢献していきたい」と展望を述べています。

『スマートドラム』はタグ内の保有データなどお客様の仕様に合わせてカスタマイズ提案する仕組みで、容器単体のみならず IC タグのリーダー・ライターなどの周辺機器や、自動化システム等の開発も含む運用ソリューションについても提携パートナーと共同で提案可能としており、お客様の多様なニーズに幅広く応える取り組みも視野に捉えています。

詳しいお問合せは、ダイカン株式会社まで

電話:06-6466-4511 , メール: info@daikan-d.co.jp

Web サイト:<https://www.daikan-d.co.jp/>